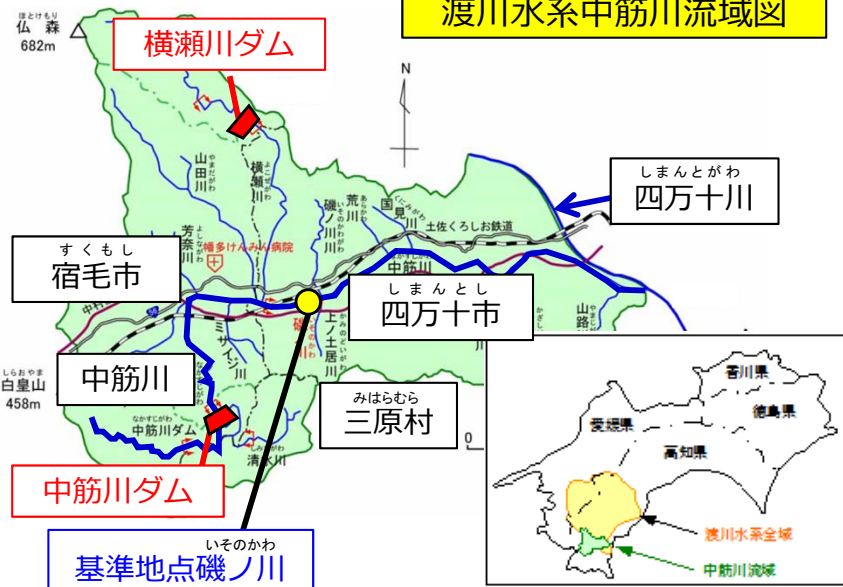


中筋川ダムと横瀬川ダムの効果(高知県・渡川水系中筋川)

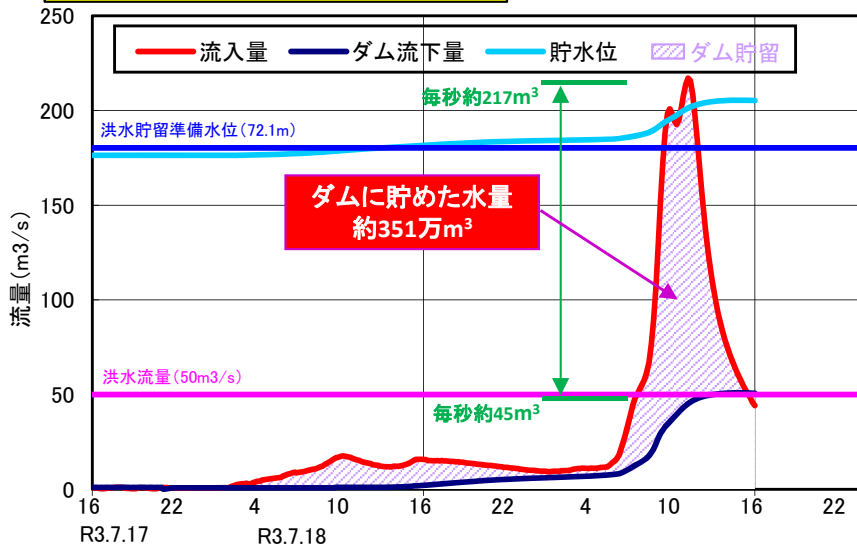
- 令和3年7月16日の夕方からの降雨は、中筋川ダム上流域では累計372mm※1、横瀬川ダム上流域では累計397mm※2の降雨を観測。
- 中筋川ダムでは最大流入量の約79%をダムで貯留し、横瀬川ダムでは最大流入量の約80%をダムで貯留。
- ダムがない場合は、磯ノ川地点で約1.4mの水位が上昇していたものと推定される。中筋川ダム・横瀬川ダムの2ダムの洪水調節によって、**氾濫危険水位超過を回避**した。

※1:7月16日16時~18日14時(時間最大68mm・18日9時)、※2:7月16日17時~18日16時(時間最大69mm・18日11時)

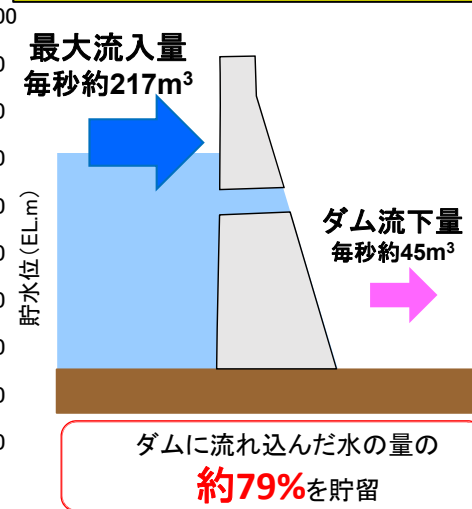
渡川水系中筋川流域図



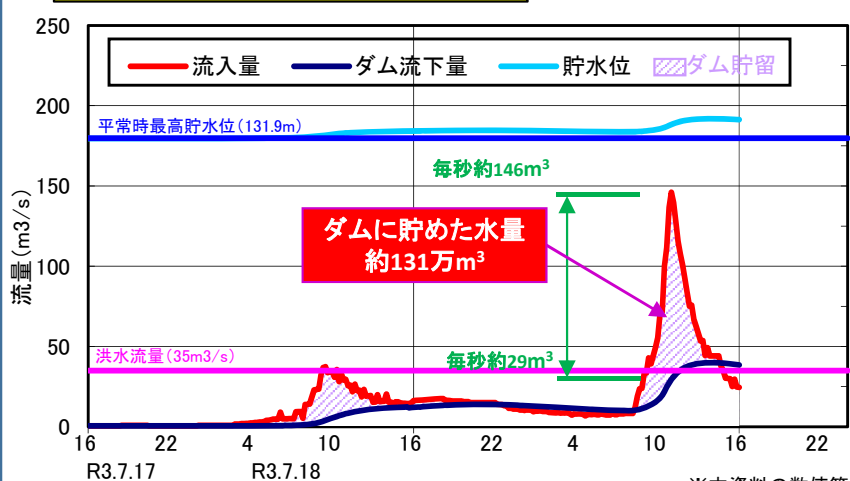
中筋川ダムの洪水貯留状況



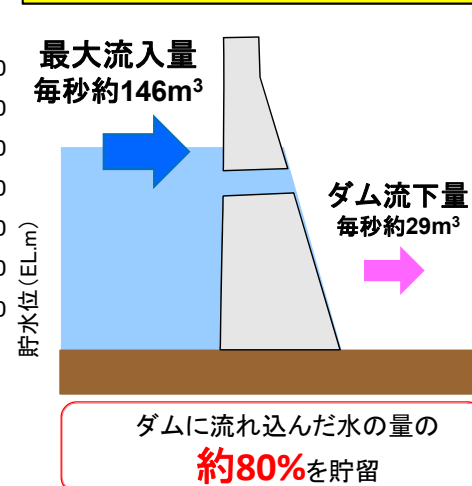
最大流入時の中筋川ダム



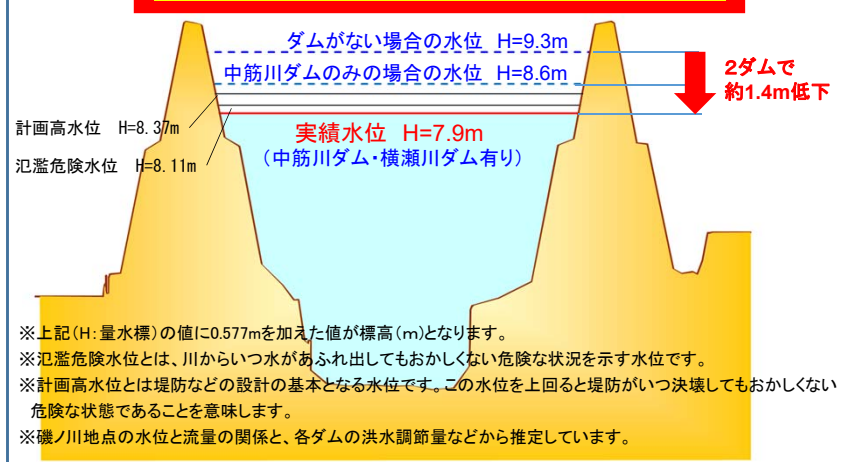
横瀬川ダムの洪水貯留状況



最大流入時の横瀬川ダム



中筋川ダム・横瀬川ダム2ダムにより計画高水位水位及び氾濫危険水位超過を回避



※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

ダムの貯留状況

中筋川ダム



貯留前 EL=70.55m (16日15時00分)



今回洪水による貯留量
約351万m³

貯留後 最高貯水位EL=82.18m (18日15時00分)

横瀬川ダム



貯留前 EL=131.82m (16日9時50分)



今回洪水による貯留量
約131万m³

貯留後 最高貯水位EL=136.75m (18日14時00分)